

令和6年度歳出（一般会計）を町民一人当たりの支出に換算すると

48万4,486円（前年度比+2万8,790円）

※令和7年4月1日現在の人口（29,655人）を基に換算しました。

目的別	金額
民生費	161,907円
総務費	114,017円
土木費	54,919円
教育費	40,134円
衛生費	32,960円
公債費	31,162円
農林水産業費	22,868円
消防費	16,152円
その他	10,367円

令和6年度は、令和5年度と比べ、町民一人当たりの支出は約3万円増加しました。これは、物価高騰対策や非課税世帯への給付金事業、文化交流会館建設に係る事業などによる増額です。

目的別では、子育てや、社会福祉に関する経費（民生費）が最も多くなっています。今後も、少子高齢化などの影響により一人当たりの支出が増える見込みであることから、引き続き適正な予算の執行に努めます。



特別会計及び企業会計

区分	会 計		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
特別会計	国民健康保険特別会計		36億 59万円	35億7,332万円	2,727万円
	後期高齢者医療保険特別会計		5億3,468万円	5億3,210万円	258万円
	介護保険特別会計		35億8,422万円	35億1,421万円	7,001万円
企業会計	農業集落排水事業会計	収益の収支	3億1,077万円	3億 57万円	1,020万円
		資本の収支	4,605万円	9,722万円	▲ 5,117万円
	公共下水道事業会計	収益の収支	6億5,014万円	6億5,335万円	▲ 321万円
		資本の収支	3億4,650万円	4億4,952万円	▲ 1億 302万円
	水道事業会計	収益の収支	8億 621万円	7億1,158万円	9,463万円
		資本の収支	4億8,003万円	7億6,711万円	▲ 2億8,708万円
	工業用水道事業会計	収益の収支	198万円	181万円	17万円

※農業集落排水事業会計、公共下水道事業会計及び水道事業会計の不足分については、損益勘定留保資金（減価償却費など現金を伴わない支出）などで補てんを行っています。

健全化判断比率及び資金不足比率

	茨城町（%）	早期健全化基準（%）	財政再生基準（%）
実質赤字比率	—	13.66	20.00
連結実質赤字比率	—	18.66	30.00
実質公債費比率	5.9	25.00	35.00
将来負担比率	22.8	350.00	—
資金不足比率	—	20.00	—

健全化判断比率とは、町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や、再生の必要性を判断するためのものです。実質公債費比率とは、標準的な歳入に対する公債費（町が借りたお金の返済）の割合を示し、将来負担比率については、標準的な歳入に対する将来負担すべき負債の割合を表しています。茨城町は全ての項目について、早期健全化基準及び財政再生基準に達していないため、財政状況が健全な団体となります。

【問合せ先】 財政課 ☎029-240-7123（直通）

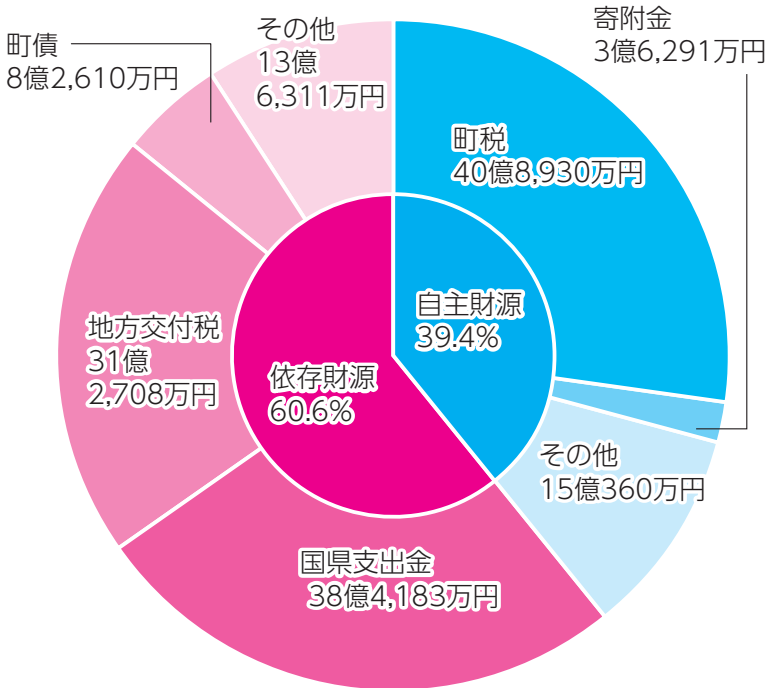
令和6年度
決算報告

皆様が納めた税金や国・県からの補助金がどのように使われたのかを知っていただくため、町の歳入・歳出における決算状況をお知らせします。

また、併せて令和6年度の健全化判断比率及び資金不足比率についてお知らせします。

一般会計

歳入 151億1,393万円



自主財源

町が自主的に調達したお金。町税をはじめ、繰越金や繰入金、使用料、手数料、寄附金など

町 税… 皆様が納めた税金

寄附金… ふるさと納税などの寄附のお金

その他… 施設の使用料、諸証明書発行に対する手数料、昨年度から繰り越したお金など

依存財源

国や県からのお金。地方交付税や各種交付金、国県支出金や町債など

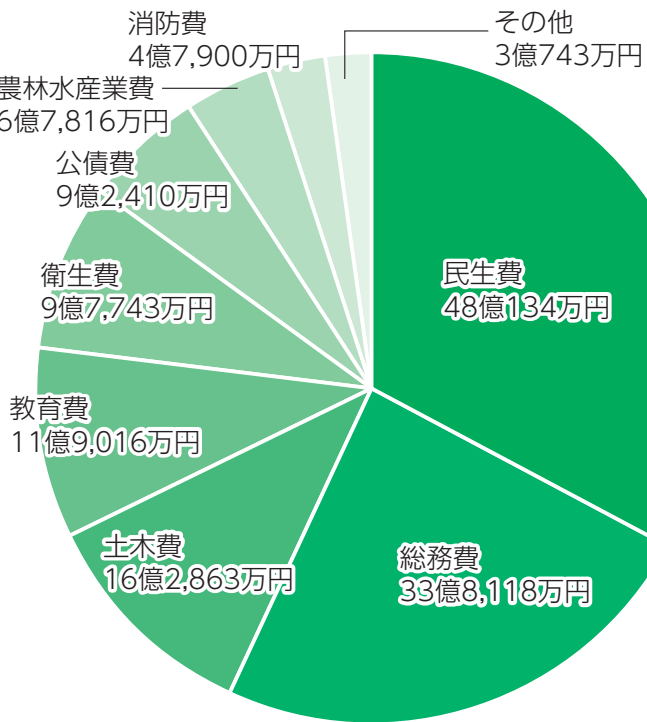
国県支出金… 特定の事業や事務に対して国や県から補助されるお金

地方交付税… 他市町村との財源の均衡を保つために国から配分されるお金

町 債… 町が借り入れるお金

そ の 他… 地方消費税交付金や各種交付金

歳出 143億6,743万円



款別

民 生 費… 子育て支援や社会福祉に関する経費

総 務 費… 人事・財政などの事務事業に関する経費

土 木 費… 道路・住宅の整備などに関する経費

教 育 費… 教育・文化・スポーツの充実などに関する経費

衛 生 費… 医療・保健・ごみ対策などに関する経費

公 債 費… 町が借りたお金の返済に関する経費

農林水産業費… 農業・林業・漁業に関する経費

消 防 費… 消防や救急救命に関する経費

そ の 他… 町議会の運営、商工業などに関する経費

歳入歳出差引額7億4,650万円のうち、4億7,650万円は令和7年度に行う事業に使用し、2億7,000万円は将来に備えて基金（町の預貯金）に積み立てました。